

ひだまり通信

ひだまりエッセイ

はじめてひだまり通信で紹介させてもらいます、老蘇訪問介護事業所の管理者をしています高野と申します。

老蘇訪問介護事業所は共生型訪問介護事業所で障害福祉サービスの重度訪問介護と、介護保険サービスの訪問介護の両方を提供しています。

職員は23名おり、24時間365日サービスの提供をおこなっています。サービス提供地域は札幌市全域、北広島市、江別市、空知南部です。老蘇会では唯一札幌市を離れてサービス提供をおこなっています。

職員は自宅と利用者様宅の間を直接行き来するため普段は法人内で見かけることはありませんが、忘年会等、法人の

第15号

令和5年12月



011-676-3131

行事を楽しみに日々仕事に従事しています。

これから益々寒くなることと思いますが、在宅生活を支えるために職員一同協力して頑張っていきたいと思えます。

老蘇訪問介護事業所

管理者 高野 欽次

※重度訪問介護とは、重度の障がいを抱える方々が地域で生活していくために、日常生活全般をささえる介護を総合的に提供するサービスです。



秋の防災訓練

高齢者住宅を併設している静明館で秋の防災訓練を行いました。

毎年行っている防災訓練ですが、今年は大量に発生した雪虫とアブラ虫の影響で屋内のみでの実施となりました。

2階にある給湯室からの出火を想定して、初期消火役、避難誘導役、通報役など役割を分担。入居者の皆様にどのように避難していただくかなど一連の流れを確認しつつ、1階にある地域交流空間へ避難しました。その後、専門家の方に消火器の使い方の説明していただき終了しました。

平成30年の胆振東部地震でのブラックアウトの経験は、災害が起こった時に在宅医療の現場や介護施設で何が必要になるかを考えるきっかけになりました。

5年。万が一災害が起こった時に医療法人としてこの地域で何ができるかを模索し続けようと思えます。



発行：医療法人財団 老蘇会

静明館診療所 静明館訪問看護ステーションのほな・やいろサテライト サービス付き高齢者向け住宅あいのり 小規模多機能型居宅介護事業所つるがめ 老蘇訪問介護事業所 静明館居宅介護支援事業所はれのし